

応募資格

自分を若手と思う演出者

※最終審査期間参加可能であること

応募方法

以下のものを一式、
日本演出者協会事務所へ
送付してください。

※提出書類は返却できませんのでご了承ください。

- 1 演出家の演出プロフィール
※これまでの演劇歴を記載した書面。
- 2 今までに演出した1作品公演の映像資料(同じ映像内容)
のDVD素材・3枚をご提出ください。
※応募は1作品のみとなります。
※DVD素材での再生機限定などにて、再生不良が多発しております。
再生不能時は審査対象外となります。
※映像内容が途中までの録画や、音声が入っていない(聞こえない)
等の場合、審査対象外となります。ご注意ください。
※戯曲の上演著作権は各応募者に於いて申請取得してください。
- 3 提出映像作品の上演台本、その他上演資料(映像資料
のチラシやパンフレット)各2部
- 4 氏名(読み仮名・演出家名・芸名があればそれぞれ記載)、
郵便番号、住所、電話番号、FAX、携帯電話、
e-mailアドレス(携帯/PC)
※連絡先に関しては確実に連絡のとれるものをご記載ください。
- 5 第2次審査へ通過時の対象公演内容(期間・場所など)

5/1~6/30×切

※当日消印有効

1次審査

映像審査

<5月1日~6月30日>

※当日消印有効

公演映像資料、書類による審査。

- ※演出家の演出プロフィール・連絡先
- ※審査対象映像作品<1作品のみ>DVD(3枚)
- ※提出映像作品の上演台本(2冊)

□プロフィール

- 名前(よみがな) 芸名(よみがな)
- 郵便番号 住所
- 電話番号(連絡のとれるもの)
- 固定電話 FAX番号有無
- e-mailアドレス(携帯/PC)
- 演出家の演出プロフィール
- 第2次審査へ通過時の対象
公演内容(期間・場所など)
- DVD 3枚<DVDプレイヤーにて再生確認要>
- 台本 2冊
- 公演資料各2部(チラシやパンフレット)
- ※作成していない場合は不要

8月末に審査通過者に電話で通知予定。

2次審査

実演審査

<9月1日~12月3日>

第1次審査で選ばれた**15名**の演出
家による上記期間内に行われる公演
(または稽古)を、審査員2名以上が観
に行き審査。

- ※公演がなく稽古審査となる場合は、
公演に準ずる形での通し稽古などを
審査対象と致します。
- ※配信のみの公演は審査対象外です。
- ※コロナ禍の影響により、予定していた
公演が出来なくなった場合は、ご相談
に応じます。

12月中旬、審査結果を発表。
4名を優秀賞演出家として選出、
12月末に表彰。

※日本演出者協会より優秀賞受賞者
には優秀賞10万円を授与ほか、
協会費の一部免除。
(すでに協会員の方は免除対象にはなりません。)
活動地域が東京から100km以上の
場合遠方支援金の支給有り。

12月中旬に審査結果を発表。
12月末に表彰式。

最終審査

公開審査

2024年2月27日(火)
~3月3日(日)

最終選出された**4名**が自らキャスト、
スタッフを集めて北沢「劇」小劇場
にて、一般公開で観演します。

上演の流れ

2時間の仕込み
<受付開場時間込み全2時間>
↓
1時間以内の本番
↓
1時間のバリン・撤収
※平日1回と
土日のどちらかで1回の
2回上演

この公演を審査員が
公開審査し、最終選考とします。

公開審査による最終選考会

最優秀演出家賞
最優秀賞受賞者には
賞金50万円
&
最優秀演出家による**記念公演**
同劇場にて2025年3月上旬予定>
劇場費補助(公演期間は限定になります)

優秀賞

優秀賞の4名には**10万円**
協会費の一部免除
(すでに協会員の方は免除対象にはなりません)

観客賞

(状況により変更の可能性があります)
最終公開審査では、**1回観劇による**
観客賞も授賞されます!
賞金は日本演出者協会より授与されます。

■ お申し込み・お問合せ

一般社団法人
日本演出者協会

〒160-0023
新宿区西新宿6-12-30 基能花伝舎3F
TEL 03-5909-3074
FAX 03-5909-3075
ホームページ: <https://jda.jp/>

■ 若手演出家コンクール お問合せ

MRCo.
TEL: 090-2916-1739 (担当: 三村)
E-mail: mrco@m8.dion.ne.jp

2022年度受賞者

- 最優秀賞 **二ノキノコスター**【オレンヂスタ】(愛知県)
- 優秀賞 **春陽漁介** 【劇団5454】(東京都)
西田悠哉 【劇団不労社】(京都府)
村田青葉 【演劇ユニットせのび】(岩手県)

最優秀賞受賞記念公演

二ノキノコスター
2024年3月4日~10日<予定>

2022年度審査員

一宮周平 鷲山仁 加藤ちか 鐘下辰男 鹿自由紀 木村繁 小林七緒 佐野ハビ市 澤野正樹 スズキ拓朗 高橋純 土橋淳志 弦巻啓太	(パンフェッタ) (文学座) (舞台美術家) (演劇企画集団THE-GAZRA) (劇団あおきりみかん) (オグジュワトワームシアター) (流山児★事務所) (東京ミルクホール) (CHAirolPLIN) (A級Missing Link) (弦巻劇団)	外波山文明 西沢栄治 はせひろいち 日澤雄介 平塚西隆 広田淳一 三上陽永 山口宏子 山田恵理香 流山児祥 わかざあふ 和田喜夫	(稽古) (JAM SESSION) (劇団ジャブジャブサーキット) (劇団チヨコレートケーキ) (オイスターズ) (アマヤドリ) (ぼこぼこクラブ) (朝日新聞記者) (空想再生事業劇団GIGA) (日本演出者協会理事長) (玉造劇場・リリットアミーロ) (演劇企画集団楽天団)
---	---	---	---

若手演出者コンクール2023

この数年、演劇もいろんな経験をして、いろんな反省、いろんな発見がありました。とりわけ痛感させられたのは、われわれの人間世界を取り巻く、目に見えない世界の在り方にこそ目を向けなければならぬということ。時に人間中心の価値観を離れ、より広い世界観の中で人間の在り方を再検証する。そのための芝居、そのための言葉、そのための身体。演劇の呪術力・交感力を鍛えなおすことが、今、求められているのだと思います。そんな時、われわれのアートに何ができるのか、とりわけ演出なんかに、一体何ができるのか? 新しい演出言語の出現に、熱い期待と羨望を抱いています。

若手演出家コンクール担当理事 鷲山仁(文学座)